

札幌市教育振興基本計画

札幌市の教育が目指す人間像
「自立した札幌人」

札幌市学校教育の重点

札幌らしい特色ある学校教育

- ・札幌の特色（自然、社会的・人的・文化的環境）を活かした体験的な教育活動（ふるさと札幌を大切に作る心）
- ・札幌市としてより重点を置く教育活動（生涯にわたり、学び、向上し続けようとする意欲）

幼・小・中・高の つながりを意識する視点

中核をなす三つの共通テーマ

雪国札幌を考える 【雪】



札幌の大切な特色の一つであり、「札幌らしさ」を学ぶための貴重な財産である「雪」を通して、ふるさと札幌への思いを強め、雪に親しみ、雪と共生しようとする心を培います。

オリンピック・パラリンピック
教育の推進



図書館の学習センター
としての機能

発信

未来の札幌を考える 【環境】



「環境首都・札幌」宣言に基づき「さっぽろ地球環境憲章」を制定した札幌の市民として、四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に伝え、地球と札幌のよりよい環境を創造しようとする心を培います。

SDGsの考え方



札幌市の文化的
施設の活用



学びの基盤となる 【読書】



「読書」により言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするとともに、「知的好奇心」をふくらませ、生涯にわたり学び続けようとする心を培います。

※「札幌らしい特色ある学校教育」においては、中核をなす三つの共通テーマ【雪】【環境】【読書】の取組が、他の取組を伴い「〇〇園、〇〇学校らしい特色ある学校教育」、ひいては、信頼される学校の創造に資することを期待しています。

※札幌の学校教育で育った全ての子どもが（関わった人達が）、【雪】【環境】【読書】を共通の言葉として、札幌の教育や学びについて、語り合えることを期待しています。